

神は純粋な心を愛する

グルマーイ・チッドヴィラーサーナンダ

抜粋30

人が携えている徳はすべて、その人の純粋な心から生じます。すべての人がある程度はこのことを知っています。あなたが何か人を高揚させることや寛大なこと、利他的なことを行くと、人々はあなたの心について次のように語るでしょう。「彼はなんて温かくて、親切な人だろう！」「彼女はなんて寛大な心を持っているのだろう」「彼女は純粋な心の持ち主だ」「彼は正しい心を持っている」。こういう表現を耳にしたことはありませんか。「一緒にいて楽しい人は軽やかな心を持っている」「英雄はライオンのように勇猛な心を持っている」。またはこんな表現もあります。「年を取っても心は若い」。トゥカーラーム・マハーラージは言っています。「聖人の心はバターのように柔らかい」

良い資質が通常いかに心と結び付いているか、そして否定的な資質がいかにマインドと結び付いているかを見るのは興味深いことです。例えば、心は決して自分のやり方を押し通そうと計画したり、企んだりはしません。心は決して自分自身の利益を求めたり、他人の痛みを喜んだりはしません。心は溶け、あふれ出ます。心の本質は純粋で、その自然な傾向は、親切、愛、寛容、勇気、慈悲、許し、無垢(むく)、正義、正直さなど、に向けられています。心は幻想に束縛されることはありません。幻想とはマインドのかかる伝染病です。

聖アウグスティヌスは言っています。「神に対しては炎の心。友に対しては愛の心。自分自身に対しては鋼の心」。心の広大さへのこのような理解が、シッダ・ヨーガの道においてあなたを導く松明(たいまつ)となるようにしなさい。「私の神は純粋な心を愛する」



© 2022 SYDA Foundation®. 著作権所有。

グルマーイ・チッドヴィラーサーナンダ著『神は純粋な心を愛する』「純粋な心」(SYDA Foundation 2005) 135 ページ